

伝え合う楽しさを体験できる英語活動の授業づくり

～児童の興味・関心に合った身近な話題や場面を設定して～

小学校英語活動班 関 浩子（小学校教諭）

◆自己課題設定理由

児童の実態 コミュニケーションに消極的
英語に興味があるけれど
「恥ずかしい」「間違えたらいやだ」

小学校外国語活動の目標
『外国語を通じて、（中略）
コミュニケーション能力の素地を養う。』



目指す児童像
進んでコミュニケーションを図ろうとする児童

「人とかかわるのは楽しい」「もっと聞きたい」
「伝わってうれしい」「もっと話したい」

◆自己課題解決のための具体的実践

単元名 「わたしの夢は」（第6学年・全8時間）
ねらい 職業に関する表現に慣れ親しみながら、自分の思いが伝わる喜びや楽しさを味わう

◆取り入れた具体的な手だて

活動を繰り返し取り入れる

児童の興味・関心に合った
身近な話題を取り上げる

児童が「伝えたい」と
思うような場面を
設定する

	聞く活動	やりとりを楽しむ活動	自分の思いを伝える活動
第1時	歌 職業ビンゴゲーム		
第2時	歌 好きなものインプットゲーム	A L Tの好きなもの当てクイズ (グループ対抗)	好きなものインプットゲーム (*一部の児童が発表)
第3時	歌 A L Tのできるもの当てクイズ	できることインタビューゲーム (1対1)	
第4時	歌 職業ヒントクイズ	職業当てゲーム (1対1)	
第5時	歌 先生の子どものころの夢クイズ	ジェスチャーゲーム (グループ対抗)	ジェスチャーゲーム (*一部の児童が発表)
第6時	チャンツ		自分の夢を伝えよう
第7時	チャンツ		自分の夢を伝えよう
第8時	チャンツ		自分の夢を伝えよう

◆研修の成果

児童がA L Tの話す
英語を集中して聞く
ようになった。
英語の音声・リズム
・基本的な表現に慣
れ親しませることが
できた。

英語を使った達成感と共に、
伝え合う楽しさを体験でき、
さらなるコミュニケーション
への関心・意欲を引き出すこ
とができた。
児童が英語でのやりとりに自
信をもてるようになってきた。

自分の夢を伝え合うという
内容は6年生の知的好奇心
を喚起し、「自分のことや
自分の思いを伝えたい」「友
達のことをもっと知りたい」
という表現活動への意欲を
高めることができた。

進んでコミュニケーションを図ろうとする態度につながった。